



家庭通信 2月号

2023年1月31日

学校法人 織田学園

おだ認定こども園

大寒から立春までの期間が1年のうちで最も寒さが厳しく、冬の自然を体感できる一番良い季節です。そして私はこの季節になると読みたくなる童話があります。それは宮沢賢治の【雪渡り】。岩手県で育った作者が描く雪国の景色が美しく、この時期にしか出会えない神秘的な現象への畏敬の念が感じられるのです。宮沢賢治と童話の出会い、小学校3年生の担任の先生が話してくれた童話に感動したことから始まるとされています。物語を読んでもらった経験が賢治の世界を大きく広げていったのでしょうか。

さて今年度幼児クラスでは読み聞かせボランティアのお母さま方が定期的に各クラスを回って子どもたちに絵本の読み聞かせをしてくださっています。それぞれの方々が選んで用意してくださった絵本を子どもたちはいつも楽しみにしながら、集中して聞いています。話を聞く力とその話からイメージを膨らませる思考力、創造性が育まれます。新しい学習指導要領は、言語活動を重視する内容に変化してきています。幼児教育では豊かに話す前段階として、物語などの日本語に触れ、語彙数を増やし言葉による表現する力の基礎を育みます。園の保護者の皆様のご協力が子どもたちの教育活動に大きく貢献してくださっている事に感謝いたします。子どもたちの育つ環境には、私たち保育教諭だけではなく保護者の方々のお力添えがとても必要となっています。今年度も保護者会役員の皆様を中心として、多くの方にご協力いただきました。保護者会役員の皆様の任期は一年間ですので、来年度役員をしてくださる方を募集いたします。(再任大歓迎です) 私たちと一緒に子どもたちの為に豊かな園生活を作るお手伝いをしてくださる方よろしくお願ひいたします。お引き受けしてくださる方は、個人面談の時に担任にお伝えいただくか、れんらくアプリや登降園時にお知らせいただければと思います。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

2月のねらい

<年長組>

こども会后～3月末までのねらい

- 友だちと関わり合いながら、自分の力を発揮し、遊びや生活を進めていくことを楽しむ。
- 友だちの良さに気づき、認め合いながら園生活を楽しむ。
- 自分の良さを感じながら自信をつけ就学に向けて期待を持つ。

<年中組>

- いろいろな友だちと関わったり、遊んだりすることを楽しむ。
- 集団で心地よく生活するための基本的な習慣や態度が分かり、自分から行おうとする。
- 進級することに期待を持ち、自分たちなりに生活したり、進んで活動に参加したりしながら、園生活を楽しむ。

<年少組>

- 園生活に見通しを持ち、自分の身の回りの事を丁寧に行おうとする。
- 戸外で簡単なルールのある遊びや色々な体操を通して身体を動かす事を楽しむ。
- 保育者や友だちと関わる中で、お互いの思いを伝え合おうとする。
- 保育者と一緒に冬の自然を見つけたり、興味を持ったりする。

<2歳児>

- 保育者と一緒に遊ぶ中で、イメージしたものになりきって、ごっこ遊びをする楽しさを知る。
- やりたいことを見つけて、周りの子と一緒に遊ぶ楽しさを感じる。

<1歳児><0歳児>

0.1歳児は個別のねらいを立てています。